

十勝沖～根室沖における1994年～2006年3月の相似地震活動

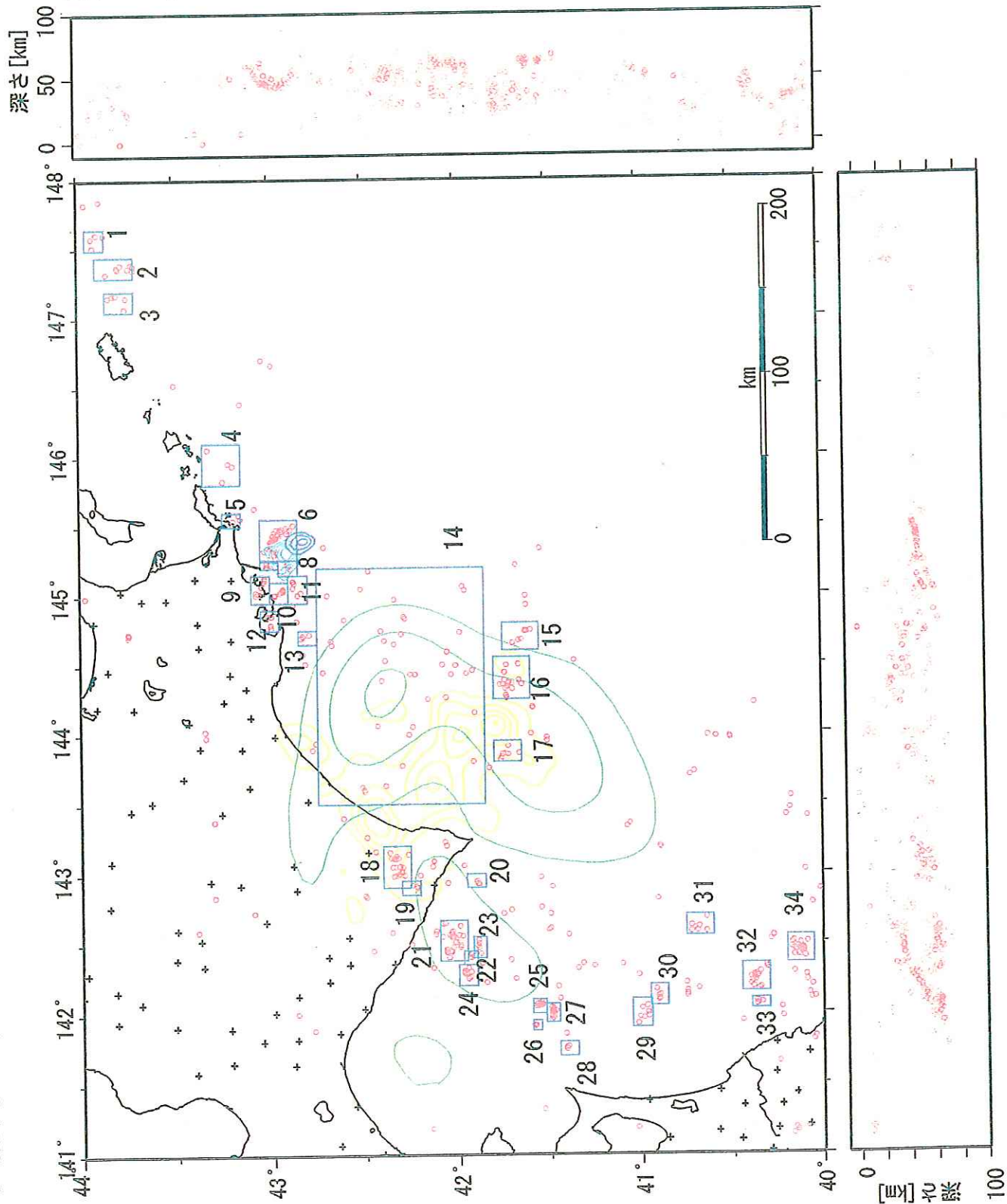


図1 1994年1月～2006年3月までに観測された相似地震グループの重心位置+は防災科研Hi-netの観測点・黄線は2003十勝沖地震の地震地すべり分布(Yagi, 2005)・水色線は2004/11/29の根室沖の地震の地震時すべり分布・青線は2004/12/6の根室沖の地震の地震時すべり分布(山中, 2006)・黄緑線は余効すべり分布(馬場・平田, 2004)を示す。領域毎のすべり履歴を図2に示す。

データ:

北海道大学大学院理学研究科附属地震火山研究観測センター

1994/1/1～2003/12/31

防災科研Hi-net

2000/10/1～2006/3/31

1782個の地震からなる516グループの相似地震が検出された。

抽出方法はMatsubara et al. (2005)による。

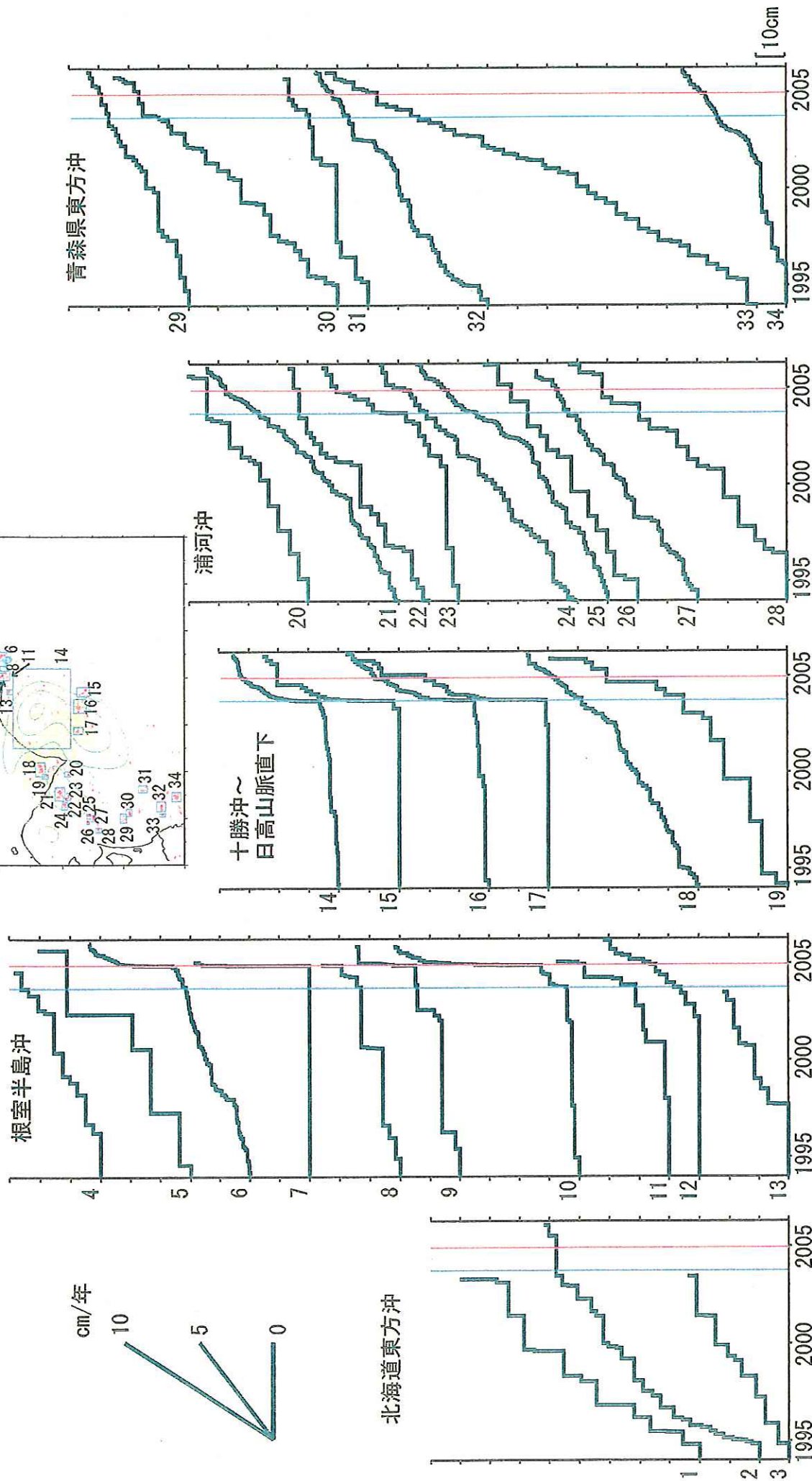
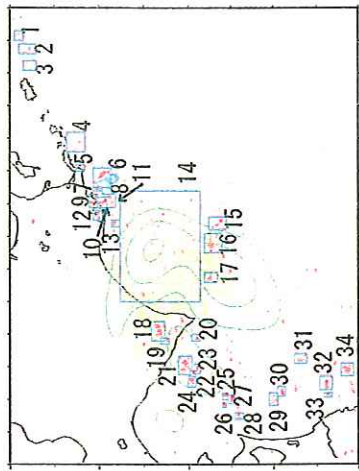


図2 各領域におけるすべり履歴
青線は2003年十勝沖地震、赤線は2004年11月根室沖の地震の発生時刻を示す。

各相似地震グループのすべり量をNadeau and Johnson (1997)の式を用いて計算し、それらを各領域について平均して推定した。マグニチュードは北大センターとHi-netの同一地震のマグニチュードの関係式を求め、Hi-netのマグニチュードへ変換しさらにMatsubara et al. (2005)の式を用いてHi-netマグニチュードをモーメントマグニチュードへ変換した。